

3年	小数のたし算	筆算による (1/10の位) + (1/10の位)
【ねらい】 小数第1位までの小数の加減法の筆算の仕方を理解し、それらの計算ができる。		

課題	2.9+1.4の筆算の仕方を考えよう。	小数のたし算の筆算の仕方を考えましょう。 
----	---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

既習事項	①0.1 をもとにして考えてみよう。	②そのまま計算しよう	③タイル図と位取り表でやってみよう。
------	--------------------	------------	--------------------

自力解決	 <p>①0.1 が何個分かで考えると良かったんだから</p> <p>2.9 は 0.1 が 29 個分 1.4 は 0.1 が 14 個分だから</p> $\begin{array}{r} 29 \\ + 14 \\ \hline 43 \end{array} \quad \leftarrow 0.1 \text{ が } 43 \text{ 個分ということ}$ <p>だから、4.3 になるんじゃないかなあ。小数点はそのままするせばいいのかなあ？</p> $\begin{array}{r} 2.9 \\ + 1.4 \\ \hline 4.3 \end{array}$	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時までの小数の加減を振り返る声掛けやヒントカード、算数コーナーの掲示等があると良いです。 ● 自分の考えを持った児童は、それを言葉で説明できるようにノートに書かせましょう。 													
	 <p>②小数点がついてるけど、そのまま計算しよう。</p> $\begin{array}{r} 2.9 \\ + 1.4 \\ \hline 4.3 \end{array}$ <p>4.3 でいいのかなあ。</p>														
	 <p>③タイル図と位取り表を使って計算をしてみよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>一の位</th> <th>小数第一位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td><input type="text"/> <input type="text"/></td> <td><input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>+</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/></td> <td><input type="text"/> <input type="text"/></td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>小数第第一位は13になる。だから、繰り上がりをしてやると4.3 になりそうだ。</p>			一の位	小数第一位		<input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	+	<input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/>	
	一の位	小数第一位													
	<input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>													
+	<input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>													
	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/>													
	4	3													

1 自分の考えを発表する。



①0.1 が何個分かて考えると 2.9 は 29 個分, 1.4 は 14 個分になる。これをたすと $29+14=43$ になる。これは 0.1 が 43 個分ということだから 4.3 が答えだと思う。小数点は, 分からないからそのままおろした。



②整数と同じように計算できるんだから, そのまま計算してみて $2.9+1.4=4.3$ になった。



そんなに多くなるのかなあ。



③タイル図と位取り表を使ってみると小数第一位が 13 個になる。10 個で 1 になるから, 繰上げをすると 3 が残る。一の位は 3 個だけど, 繰上げの分があるから合わせて 4 になる。だから答えは 4.3 だと思う。

答えが 2 通り出てきたので確かめてみよう。

(確かめた結果) 答えが 4.3 になることが分かったね。じゃあ, それを筆算で書いてみよう。



提示

$$\begin{array}{r} 2.9 \\ +1.4 \\ \hline 4.3 \end{array}$$



①で出たみたいになって, 整数の計算に似ている。小数点はやっぱり同じところにあるんだ。

2 まとめる。

そうだね。じゃあ, 筆算の仕方をまとめよう。



小数のたし算の筆算は

- ①位をそろえて書く。
- ②整数のたし算と同じように計算する。
- ③上の小数点にそろえて答えの小数点をうつ。

$$\begin{array}{r} 2.9 \\ +1.4 \\ \hline 4.3 \end{array}$$

●②については, 誤答になるので, 実態に応じて教師が提示しても良い。

●発表用に掲示する方法を決めて, 準備をしておきましょう。
提示方法例: 掲示用黒板
画用紙
実物投影機
等

●4.3 という答えが出た時には, 2.9 が 3 に近い数, 1.4 が 1 と 2 の間の数だから, このたし算は 4~5 ぐらいになるということをつかませると, 答えの見当をつけたり, 見直しをしたりする力につながると思います。

●前時までの加減計算で出てきたマス図や数直線等の中で, 児童が理解しやすいものを使って答えを確かめると良いです。

●児童から出ない時には, 教師が①を言うなどして, 次を引き出し, できるだけ児童の発言でまとめるようにしていくと良いでしょう。

●ただし, 混乱しそうな時には教師主導をしながら, 一緒に確かめながらまとめていきましょう。

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

●教科書の問題でも, 0 の省略や 0 を補うことを必要とする問題もあるので, 学習をしてから解かせるようにしましょう。

●小数点の位置でつまずく児童には, 筆算の仕方をもう一度振り返らせ, 小数点の位置をしっかりと意識させていくと良いです。